



**JUBILANT
BIOSYS**

AI創薬における人間要素

創薬研究がかつてないほど多くのデータを生み出し、コンピューターへの依存度を高めるにつれ、研究者の役割は変化しています。Jubilant Biosysは、この変化の最前線にいます。550人以上の研究者の、合わせて4000年以上の研究経験は、コンピューターには対処不可能な、創薬プロセスにおける意思決定に焦点を当てています。

創薬プロジェクトの全体像を俯瞰し、さまざまな専門知識を活用し、共同研究で創薬研究の複雑さに取り組む能力が、Jubilant BiosysをCROとして選択されるだけでなく、75以上の成功した創薬プロジェクトにおいて、世界の革新的な企業の信頼できるパートナーとしています。

次世代の課題やAI主導の創薬に取り組むために、私たちがどのように協力できるか、お話をさせていただきますか？皆様のAI創薬で生まれたバーチャルな化合物を、現実の医薬品候補化合物とするお手伝いをさせていただきますか？

日本担当：城戸 佳織

Email: kaori.kido@jubilantbiosys.com

Website: <https://www.jubilantbiosys.com>



Integrated
drug discovery
partnership



Comprehensive
Chemistry
Services



Structural Biology
& Custom Protein
Production



In-vitro &
in-vivo Biology
Services



Contract
Manufacturing

ADDED DIMENSION IN DRUG DISCOVERY

講演テーマ「AI創薬に付加価値を加える」

Application of in Silico Methodologies to Hit/Lead Optimization. A case study.

インシリコ手法による、
ヒット最適化のための
応用事例紹介
(英語によるプレゼン)



Jeyaraj D.A

*Ph.D., Vice President,
Discovery Chemistry*

Identification of Novel Biological Targets Assisted by AI

AI補助による、
新規ターゲットの同定
(日本語によるプレゼン)



Takeshi Yura

*Senior Vice President, CSO
& Site Head, Bengaluru*

Design and Optimization of Compounds from a DMPK viewpoint

DMPK の観点から見た、
化合物のデザインと最適化
(英語によるプレゼン)



Ravi Kumar Trivedi

*Ph.D., Assistant Vice
President, Head DMPK
& Toxicology*

Moderator:

Kaori Kido, Ph.D., MBA,
*Senior Director Business Development,
Jubilant Biosys Ltd.*

